

令和8年度天皇杯・皇后杯 JVA 全日本バレーボール選手権大会

《山梨県ラウンド開催要項》

主 催	公益財団法人日本バレーボール協会
共 催	公益社団法人 SV リーグ、一般社団法人ジャパンバレーボールリーグ
主 管	(一社) 山梨県バレーボール協会
協 賛	株式会社カプコン・電源開発株式会社・東京エレクトロン株式会社・久光製薬株式会社・ 全日本空輸株式会社・大同生命保険株式会社・中央日本土地建物グループ株式会社・ 株式会社ネイチャーラボ・丸大食品株式会社・株式会社三菱UFJ銀行・ 株式会社ローソンエンタテインメント・ミズノ株式会社・豊田合成株式会社 (予定)
オフィシャルボール	株式会社ミカサ、株式会社モルテン
協 力	セノー株式会社 (予定)

1. 開催趣旨： 本大会は、本協会に登録する全てのチーム（中学生以上）が、1年を通して「天皇杯」・「皇后杯」の名を冠するに相応しい、日本の6人制バレーボール最高のチームとなる栄誉を競うと同時に、バレーボールの競技を通じて体力、人格、精神力の向上を目指し、また日本バレーボール界の発展と普及に寄与することを目指して開催する。
2. 開催期間： 令和8年7月5日（日）
3. 会 場： 男子：南アルプス市櫛形総合体育館（山梨県/南アルプス市）
女子：山梨中央銀行体育館（山梨県/中央市）
4. 参加資格： 2026年度公益財団法人日本バレーボール協会個人登録規定により、有効に登録されたチームおよび選手で構成された中学生以上のチーム
5. 競技規則： 2026年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による
6. 競技方法： 原則として3セットマッチのトーナメント戦とする。
※優勝チームはブロックラウンドへ出場する
関東ブロックラウンド：9月17日（土）・18日（日）
7. 大会使用球： 天皇杯・皇后杯大会公式球 男子：ミカサ製 V300W 女子：モルテン製 V5M5000
8. チーム編成： 1チームは、チームスタッフ（①部長、②監督、③コーチ、④マネージャー、⑤トレーナーを各1名）、選手18名以内とする。ただし、必要に応じてドクター、通訳1名を加えることができる。MRS大会申込後のエントリー選手変更は認められない。なお、各試合の選手14名の登録は各試合の60分前までに定められた用紙に記載し、エントリー受付係

に提出する。監督・コーチ・マネージャーのうち1名以上は、公益財団法人日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ1~4の有資格者とする。大会参加時には、資格を証明する登録証等を携帯すること。なおスタッフの変更届は代表者会議終了時までとし、大会期間中を通してスタッフの変更は認められないので十分に注意すること。またリベロプレーヤーの登録は下記表のとおりとする。

チーム登録人数	リベロ登録数
12名以下	0~2名
13名	1~2名
14名	1~2名

外国籍選手の取り扱いについて、SVL 所属チームにおいては SVL 規程に準ずる。その他チームにおいては、エントリー人数、オンザコート人数ともに制限は設けないこととする。また、SVL および日本バレーボールリーグ（Vリーグ）所属チームの外国籍選手においては、MRS 大会申込締切までに FIVB の ITC（外国籍選手移籍）を完了すること。ただし、ITC 登録システムが MRS 大会申込締切までにオープンせず承認完了まで十分な期間を設けられない場合は、大会実行委員会の判断で締切日を変更する。

9. 参加申込： JVAMRS から申し込むこと
10. 申込方法・締切： 令和8年6月26日（金）
11. 代表者会議： 予定無し
12. 抽 選 会： 山梨県バレーボール協会の責任において行い、決定後参加チームに連絡する
13. 開 会 式： 予定無し
14. 表彰・閉会式： 試合が終わり次第コートにて実施する
15. そ の 他：
 - (1) 同一チームを「〇〇A」「〇〇B」に分けて大会申込をした場合、ベンチ入り有無に関わらず「〇〇A」で大会申込をした選手・スタッフは、上部ラウンドで「〇〇B」で出場ができないため注意すること。
 - (2) 選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め充分留意すること。なお、競技中の負傷について、応急処置は行うが、それ以降の責任は負わない。
 - (3) チームによる大会中の写真・動画撮影や SNS 等への掲載は主催者・対戦相手の許可を得てから行うこと。